

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立北区北老人福祉センター
施設所管課・担当	福祉局高齢者施策部高齢福祉課（電話：06-6208-8054）
条例上の設置目的	高齢者に関する各種の相談に応じ、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するとともに、高齢者の地域福祉活動を支援することを目的とする。
業務の概要	高齢者の生活に関する相談・高齢者の健康の増進及び地域福祉活動に関する情報の収集及び提供・講演会、講習会及び教養講座の開催・高齢者のレクリエーション活動の機会の提供・高齢者の地域福祉活動その他自主的活動の支援。
成果指標	センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足・やや満足と回答される方」の割合
数値目標	85.2%以上(26ある老人福祉センターで実施(令和元年度～令和3年度)したアンケートの平均)
指定管理者名	社会福祉法人大阪市北区社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
評価対象期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	満足と回答される方の割合
数値目標	85.2%
年度実績	80.8%
達成率	94.8%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	17,827	17,022	805

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	19,187,000	18,811,000	0	－
	計画	19,187,000	18,811,000		
利用料金収入	実績	0	0	0	－
	計画	0	0		
その他収入 （自主事業収入）	実績	19,200	60,410	-280,800	感染症拡大防止措置継続による人数制限により参加費収入の減
	計画	300,000	300,000		
合計	実績	19,206,200	18,871,410	-280,800	－
	計画	19,487,000	19,111,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	13,190,973	13,251,530	-909,027	職員欠員期間による減
	計画	14,100,000	14,100,000		
物件費	実績	4,722,459	4,165,431	-664,541	－
	計画	5,387,000	5,011,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	0	0	0	－
	計画	0	0		
合計	実績	17,913,432	17,416,961	-1,573,568	－
	計画	19,487,000	19,111,000		

令和5年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
アンケート調査で「満足と回答される方」の割合	94.8%	B	新型コロナウイルスが5類移行後も感染症防止対策を継続実施する中で、本市が定める水準を概ね達成している。

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・再生紙利用及び2色刷りの実施。 ・比較見積調達による経費節減。 ・こまめな節電及び事務所照明のLED化。	B	施設の老朽化による維持管理コストの増加があったが、再生紙利用や節電、LED化などの取り組みを行うなど、市費の縮減に努めた。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・消防・災害避難訓練を複数回実施することにより利用者の安全管理を図っている。 ・感染症対策のため、活動中の喚起や館内消毒などの対策を実施している。
事業計画の実施状況	B	・感染症の影響により、高齢者福祉の拠点づくり・孤立防止を目的としたふれあい喫茶の開設できなかったが、社会動静を見ながら、盆踊り講習会やサークル発表会を実施するなど工夫しながらセンター運営に努めている。
施設の有効利用	B	・専門学校実習生や看護管理者の受け入れを行うとともに、北区社会福祉施設連絡会や北区リハビリテーション連絡会などの地域関係団体等と連携している。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・個人情報保護規定などを定め、個人情報の保護を行っている。 ・環境保護対策として、再生紙や裏面利用など実効性のある取組を行っている。

5 利用者ニーズ・満足度等

（1）調査方法 センター利用者に対してアンケート調査を実施
（2）回答者210人（未記入者含む）
（3）質問項目 ア 基本的な事項（年齢、居住区等） イ 満足度 ウ 感染症による影響、所持している電子機器等
（4）結果 ・総合満足度において、満足（やや満足）と回答される方が80.8%となっており、利用者の満足度は非常に高い。

6 外部専門家意見

1.事業報告書のPDCA（特にA）の文量をもう少し増やし、口頭で説明された内容や数字等も付け加えていただきたい。
2.おもちゃ病院の開催等を通して世代間交流ができていた点が評価できる。
3.コロナウイルスの状況を見て、盆踊り等の計画外の行事を臨機応変に対応し、開催されたことは評価できる。
4.男性の利用者を拡大するために、男の健康づくりや体力づくりといった取り組みを増やしていただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	大阪市の目標にはわずかに及ばず、昨年度よりも数値が低くなっている。
市費の縮減	A	電気代等が高騰している中、縮減に努めている。
管理運営の履行状況	B+	新しい取組み「美容セミナー」を開催したり、盆踊り講習会を状況を見て実施するなど地域交流活動も徐々に再開されており、利用者の増加に努力されている。 同じ建物にある障がい者作業所や保育所とも連携し多世代との交流も行っている。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	概ね、大阪市が期待する運営を行った。